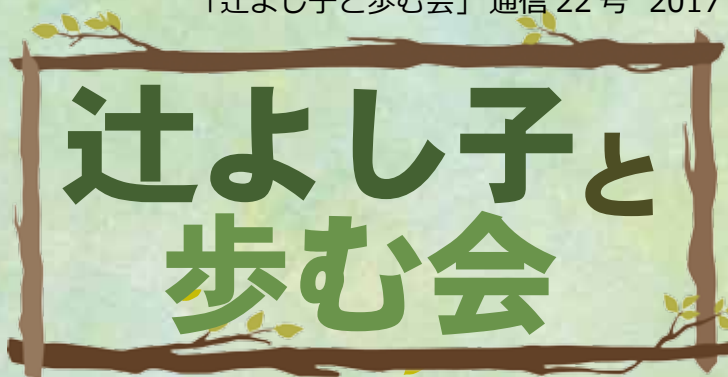




HP「辻よし子と歩む会」で検索
FB、ツイッターもやっています！

「辻よし子と歩む会」通信 22 号 2017 年 8 月 1 日発行



「辻よし子と歩む会」

☎ 190-0154

あきる野市高尾 182-1 佐橋方

電話 & FAX : 042-596-4569

e-mail : kusasigi@nifty.com

共同代表：柏倉倫子・岩田純子

小さな声に耳をすまし、大きな力にひるまず、コツコツと手作りの政治を！

ちょっと立ち寄ってみませんか？ 市民のプラット・ホーム



始まるよ！

「市民のプラット・ホーム」って何？

日々の暮らしの中で、「なんで？」「このままでいいの？」と感じたとき、その小さな「？」をそのままにせず、調べ、考え、意見を出すことで「市民参加の政治」が始まります。

また、暮らしの中で困り事にぶつかったとき、情報を集めたり、同じ悩みを抱える人と出会うことで解決の糸口が見えてくることがあります。

そのための、学びの場、情報交換の場、仲間づくりの場が「市民のプラット・ホーム」です。

「市民のプラット・ホーム」は、さまざまなテーマでおこないます。「こんな問題について知りたい、話したい」というご希望がありましたら、ぜひ、お寄せください。

(＊プラット・ホームとは、人々のつながりを支える土台という意味)

政治のことも、
気軽に話せる場が、
欲しいわぁ～



第1回 市民のプラット・ホーム

10月6日(金)

14:00～16:00

あきる野ルピア 3階 産業情報室

参加費 無料

「学校給食について話そう」

「学校給食センターはどこも老朽化しているみたいだけど…」

「新しい一つの学校給食センターにまとめて、PFI方式で進めるって聞いたけど、PFIって何？」

「あきる野市の給食には、地元の野菜はどのぐらい使われているの？」

こんな声をよく聞きます。

そこで、市の担当者をお呼びし、あきる野市の学校給食の現状と今後の計画について、お話をさせていただくことにしました。

後半は、他の自治体の学校給食の取り組みや、アレルギー対応など、学校給食に関するいろいろな話題を自由に語り合います。

話を聞くだけでも、
もちろん歓迎！

主催：くさしぎ・草の根市議と市政を考える会

傍聴しました！

6月議会 辻よし子の一般質問

市民からの声

ちゃんと仕事 しようよ

その1 汚水整備計画

6月22日の本会議、一般質問は辻さんから始まりました。辻さんの、少し緊張した強い口調での「汚水整備計画案」の問題指摘の後、内容の確認のため休憩になりました。休憩中、辻さんの席の周りには、答弁関係者のほかに議員たちも集まってきました。辻さんの質問は彼らの関心も促したようです。辻さんがよく勉強している結果だと思います。

が、待てよ！ 議員、行政40数名が出席する議会の場で、担当部署は質問を前もって受けているのに、事前の議論の下地も用意していないのか？意見が分かれても議論をするのが議会では？27、28年度と合わせて1600万円も支出して委託した計画案に彼らは目も通していないのか？限られた予算を使って出来るだけのことをしていくのが彼らの仕事では？ ……ちゃんと仕事しようよ。(S・S 小川東在住)

辻から一言



あきる野市では、下水道の整備がまだ完了していません。このままのペースでは20年以上かかり、財政面でもかなりの負担になります。

そうした中、今後どうやって汚水整備を進めていくのか、改めて見直すために、市は計1600万円をかけて民間業者に計画案を作らせました。

ところが、その計画案を読んでびっくり。計算間違いや誤字脱字があり、あまりにもずさん。そして、どうやって整備を進めるかという肝心の結論の出し方に、納得できない点がありました。そこで、計画案の問題点を中心に質問しました。

今回の一般質問によって、市は計画案の間違いを認め、現在、見直し作業をおこなっています。いずれ業者から修正した計画案が出されると思います。今後も汚水整備の進め方を注視していきます。(辻よし子)

都議会選挙で自民党大敗 ～市民の力で政治を変えよう～

うか。そんな政治家たちが合流した「小池与党」の勝利を、そのまま良しとするわけにはいきません。

それでも、前回より投票率が上がったのは良かったと思います。このままの政治じゃダメだと思う人がたくさんいたと考えられるからです。特に、質問に答えず資料を隠し、最後は審議途中でも強行採決という、安倍政権の強引なやり方に怒っている人は多かったはずです。また、自民党議員の「人としてどうなの？」と思わせる言動が、次々に報じられたことも影響したのでしょう。

ともかくも、自民党の大敗という結果に、安倍首相も「反省」を口にし、拒否し続けた国会審議を受け入れました。これを形だけに終わらせないためには、国政も都政も、私たちがしっかり見ていて、声を上げていく必要があります。

政治の主人公は政治家ではなく、市民です。市民の力で、まともな政治に変えていきましょう。(S・K 高尾在住)

市民からの声

誰もが 必要なときに 必要な情報を

先日、某委員会の会議要録を市に公開請求したばかりの私は、今回は、市の公文書管理を問う質疑応答に注目しました。森友・加計問題を持ち出すまでもなく、公文書の適正な保存と公開は行政の公正さを担保するものであり、公文書に蓄積された膨大な情報は、市民全ての「共有財産」です。

個人情報などは配慮しなければなりませんが、公文書に関しては、誰もが必要な時に、必要な情報をできるだけ容易に得られる状況が望まれます。しかし、実際はこれがなかなか難しいのです。

辻議員はあきる野市の公文書管理の方法が庁内で統一されておらず、それぞれの部や課に任せられていること、そしてそれらの判断を検証する第三者組織もない点をまず明らかにしました。その上で、公文書管理条例の制定や公文書管理のコンピューター化など、理想的な公文書管理の方策についていくつかの提言をしました。

コンピューター導入にはそれなりの予算が必要ですが、公文書の重要性を考えると検討する時期に来ていると思われます。市からも職員研修などに前向きな回答がありました。今後の進展を見守りたいと思います。(H・K 草花在住)

その2 公文書管理

辻から一言



行政に対して、「なぜ？」「どうなっているんだろう？」と思ったときに、担当職員に尋ねることもできますが、さらに詳しく知りたいと思ったときに必要になってくるのが、行政の作った文書＝公文書です。

公文書については、事実を跡付け、検証できるような内容であること、決定したことだけではなく、そのプロセスが分かるようにすることなどが、法律で求められています。また、公文書の種類は膨大なので、市民が検索できるような手立てが必要です。

今回の一般質問に向けて、多摩26市に公文書に関するアンケート調査をおこないました。その結果を見ると、あきる野市はまだ課題が多いことが分かりました。

今回提案したことが、どうやったら実現できるのか、今後も他市の例を参考に考えていきたいと思っています。(辻よし子)

辻よし子の所属する委員会が決まりました。

議会には、3つの常任委員会があります。多くの議案は各常任委員会で審議された後、本会議にかけられます。常任委員会では、行政側に質問をした後、議員間で自由に意見を出し合い、委員会としての結論を出します。この自由討議が、議会改革の一つの要です。

辻よし子は、今回、環境建設委員会に入ることになりました。自然環境の保全に関する問題、引田駅北口土地区画整理事業、下水道事業などについて審議する委員会です。活発な討論の場となることを期待したいと思います。また、これまでオブザーバーとしてのみ参加できていた議会運営委員会に、委員として入れることになりました。

その他、辻よし子が所属する委員会等は次の通りです。

広報広聴委員会、JR五日市線改善特別委員会、秋川南岸道路建設促進協議会、都市計画審議会、日の出町谷戸沢廃棄物広域処分場環境影響評価委員会、秋川流域斎場組合議会。

6月11日
あきる野市議選
当選しました！

4年前の選挙に比べ、570票も多い票をいただき、当選することができました。政党や大きな組織の後ろ盾もなく、また地縁・血縁とも関係なくいただいた1582票。1票1票に込められた思いをしっかり受け止め、4年間、がんばっていきます。



市民選挙に参加して

～選挙活動に参加された市民からの感想です～

市民の声を拾い上げる辻さんには、どうしても当選して欲しいという思いがありました。とはいえ、妊娠初期であった私の出来た仕事は、ポスティング、電話かけ、ポスター貼り。ポスティングは、裏道を発見したり、ポストの形の多様さなど、小さな発見を楽しみました。電話かけは、一言一言を丁寧に対応することを心がけました。辻さんの政策の肝は、相手との対話だと思ったからです。何かが心に引っかかってくれば、という思いでした。お手伝いを通して印象的だったことは、支援している方々の温かい繋がり方。もちろん選挙は水物で、いつも結果は分からないけど、深く強く思っている支援者の思い、辻さんの思いに後押しされた市民選挙のお手伝いでした。

(T・H 小川在住)

人前で話せる自信はなかったけれど、あきる野市議会には辻さんが必要！との思いだけでウグイス嬢を引き受けました。

当日は思いがけないハプニングで選挙カーが使えなくなり、急きょ住宅街で街頭演説をすることに。語彙力のなさも恥ずかしく、正直、役に立っているのか？と心配な気持ちになりました。辻さんを知ってもらうべく電話をかける活動も、知らない人と話すことに苦手意識もあり、なかなか思うようには進まない。

けれど、いつも初心の「あきる野市議会には辻さんが必要！」を思い出し、選挙活動に生まれて初めて主体的に関わりました。

無事に市議選が終わり、私の中で選挙は案外面白いもの、政治は身近なものに変わりつつあります。

(K・H 野辺在住)

6月11日の夜、私は10人の開票立会人の一人として、公民館におりました。各候補の票は、200票に達するごとに、一束に括られ、立会人の机の上に置かれます。私は一番くじを引いていたので、その束は、まず最初に私のところに來ます。

辻さんの束は、なかなか、なかなか来ません。これは駄目かもしれないと思いつつ、脳裏をよぎったのは、駅頭で演説する辻さんの姿でした。また、駅

の階段横で「歩む会通信」を配るくさしぎの仲間たちの姿でした。日々の地道な活動が報われないはずはない、と思い直したころでしょうか。私の机の上に、辻と書かれた束が、みつつ程、つまり一度に600票分置かれたのでした。ここ数年で一番うれしい瞬間でした。

結果的に、1,582票、10位当選という躍進でした。

(K・Y 館谷在住)

辻よし子のプロフィール

1960年生まれ。小学校教員を経て、ボランティアとしてタイの農村教育に関わる。1995年よりあきる野市に暮らす。「川原で遊ぶ会」を中心に、市内の環境保全活動に取り組む。3.11以後、新たに脱原発の市民活動を始める。2015年10月の補欠選挙で初当選。今年6月の改選で再選を果たす。現在、夫、大2・高1の息子、ネコ1匹と草花に暮らす。

「辻よし子と歩む会」会員募集中！
年会費：1,000円（カンパ歓迎！）
郵便振替
加入者名 辻よし子と歩む会
口座番号
00140-9-430053
ゆうちょ銀行
（店番）〇一九（ゼロイチキユウ）
店（019）
当座 0430053

